

BEYBLADE X

ベイブレードエックス

取扱説明書

スターター

TAKARA TOMY

対象年齢

6才以上

ペガサスブラスト

ペガサスブラスト ATr

本製品はベイブレードエックスシリーズです。

ケガや破損の恐れがあり危険ですので他のシリーズ(バーストシリーズ等)と一緒に遊ぶことは絶対におやめください。

セット内容

● 取扱説明書(本書) × 1

※ セット内容物以外は全て別売りです。

● ブレード[ペガサスブラストA]

● ラチェット一体型ビット

● ワインダーランチャー グリーンVer.

● CXツール×1

メタルコートグリーン×1

[Tr]×1

(本体×1、ロングワインダー×1)

CXのブレードは以下の3パーツに分解することができます。

ロックチップ/ペガサス

メインブレード/ブラスト

アシストブレード/A(アサルト)

ラチェット一体型ビットの注意点

※ セット内容物以外は全て別売りです。

ラチェット一体型ビット

ラチェット

ビット

ブレード/スコピオスピア

ラチェット

ビット

※ 使用により塗装が剥がれることがあります。※ 写真やイラストはイメージです。実際の製品とは多少異なる場合があります。※ 光や残像はイメージです。

※ この製品で遊ぶには別売りのベイブレードエックスシリーズ専用スタジアムが必要です。

取扱説明動画

コチラからご覧ください

beyblade.takaratomy.co.jp/beyblade-x/manual/

※ WEBへの接続は保護者の方が行ってください。

※ 通信料はお客様のご負担となります。

カスタムライン

CXのブレードについて

CXのブレードはロックチップ、メインブレード、アシストブレードの3パーツに分解することができます。

ロックチップ

メインブレード

アシストブレード

警告(けいこく)

保護者の方へ必ずお読みください。

● 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。

注意(ちゅうい)

● ご使用の前には、取扱説明書(本書)をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管してください。

● ベイブレードエックスで遊ぶ時は、ベイブレードエックス同士で遊んでください。違うシリーズ(バーストシリーズ等)のベイブレードと遊ぶことはおやめください。

● 回転しているベイブレードの上や横方向から、ベイブレードをシュートしないでください。はじかれて飛んだり、破損等の恐れがあり危険です。

● ベイブレードは高速で回転しますので危険です。回っている時には、絶対に顔を近づけたり、手で触れたりしないでください。思わぬケガの恐れがあります。

● ベイブレードで遊ぶ時は周りに注意して、腕やワインダー等が人に当たらないようにしてください。

● ベイブレードで遊ぶ時は周りに人や動物、家具やテレビ等の家電製品、ガラス等がないことを確認してください。

● ベイブレードエックスは必ずベイブレードエックス専用スタジアム(別売り)で遊んでください。また、遊ぶ際には必ず足もと(床・地面)に置いてください。

● ワインダーは、指等に巻きつけないでください。血が通わなくなり危険です。

● ランチャーは正しく持ってください。安全のため、破損変形したおもちゃは使用しないでください。

● 遊ばない時は必ずランチャーからベイブレードを外してください。

● ぶついたり、ふりまわす等乱暴な遊びをしないでください。

● ベイブレードエックス専用スタジアム(別売り)を使用する時は火気や暖房器具の近くで遊ばないでください。

● プラスチック袋を頭から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。

● 思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は3才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。

使用上の注意

○ 各パーツは無理に曲げたり引っ張ったりしないでください。○ 包装材は開封後すぐに捨ててください。

20cm

ベイブレードは下に向けてスタジアム中央から20cm以内の高さからシュートをしてください。

60秒

空中でぶつかったベイブレードやパーツははじけ飛んで危険ですので、必ず同時にシュートをしてください。

ベイブレードの回転中にスタジアムに手を入れないでください。

スタジアムにはベイブレードを3個以上シュートしないでください。

立ちひざ姿勢で遊んでください。

周りに人にぶつからないように注意して遊んでください。

カスタムライン

CXのブレードの分解

① ブレード表面のロックチップのすき間にCXツールの凸を引っ掛けようように差し込みます。

すき間

ブレード

カスタムライン CXツール

② ブレードの外周部分を持ちながら、CXツールを矢印の方向にひねります。

カスタムライン

矢印の方向

③ CXツールを外して指でロックチップを矢印の向きに押し込むと分解できます。

ロックチップ

ブレード

ベイブレードをシュートする前には必ず各パーツにヒビや破損、ネジの外れ等がないことを確認してください。ヒビ・破損・ネジの外れ等があるとケガをする恐れがあるため、直ちに使用をおやめください。

ベイブレードの組み立て方

① ブレードとラチェット一体型ビットを組み立てます。

ブレード

ラチェット一体型ビット

ジョイント(白いパーツ)

② 下図を参考にブレードとラチェット一体型ビットを重ねます。ブレード表面の凹みにラチェット一体型ビットの表面のジョイントを合わせるようにしてください。

凹み

ジョイント

③ ラチェット一体型ビットをブレードに押さえつけたまま④に進んでください。

矢印の向き

ベイブレードの組み立て方

④ ブレードを押さえながら、ラチェット一体型ビットを矢印の方向に奥まで回してロックされたら完成です。

※ 左回転のブレードと組み立てる場合は、逆向きに回してロックしてください。

完成

※ 分解する時は逆の手順で取り外してください。

正しく組み立てられたか確認してください。

ブレードを押さえながらラチェット一体型ビットを矢印の向きに引っ張り、ブレードとラチェット一体型ビットが外れない事を確認してください。

カスタムライン

CXのブレードの組み立て方

① 下図を参考にメインブレード表面の赤枠部分にアシストブレード表面の凸を重ねてください。

メインブレード表面

アシストブレード表面

② ロックチップをメインブレード表面から中央の穴に差し込みます。

ロックチップ

メインブレード

穴

③ ロックチップが抜けないように指で押さえながら裏面からCXツールを分解時と同様に奥まで差し込み、矢印の方向に回すとブレードが完成します。

ロックチップ

アシストブレード

カスタムライン CXツール

ロックチップを人差し指で押さえたま、メインブレード、アシストブレードをしっかり持ってください。

ロックの確認をしてください

ロックチップの凸とメインブレードの凸が噛み合っていないか確認してください。

ロックできている状態

ロックできていない状態

ラチェット一体型ビット / Tr(ターボ)の特徴

Tr(ターボ)は回転速度に応じて軸先が変形するラチェット一体型ビットです。

高速回転時に細い軸先が現れスタジアム中央付近をほどよく動き、回転が落ちると太い軸先で接地し、再加速をしてXダッシュが出来ます。

シュートパワーを調整することで2つの状態を使い分けることが可能です。

※ シュートパワーが低い場合は最初から太い軸先となります。

回転速度に応じて軸先が変形

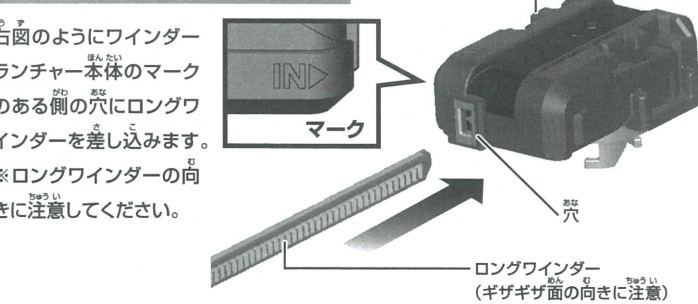
ラチェット一体型ビット / Tr(ターボ)

細い軸先(高速回転時)

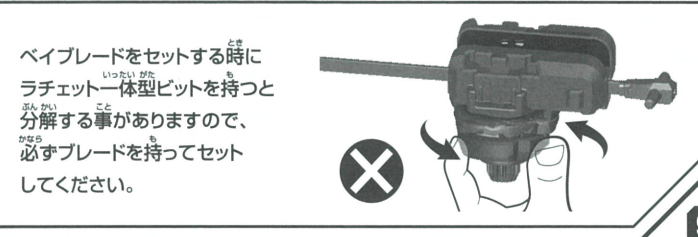
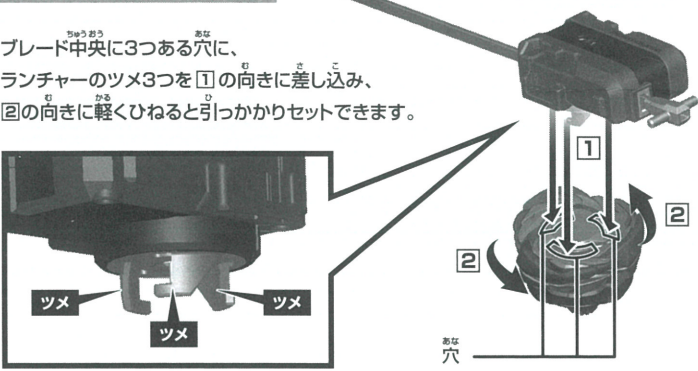
太い軸先(低速回転時)

ベィブレードのシュート方法

① ワィンダーランチャーの準備



② ベィブレードのセット

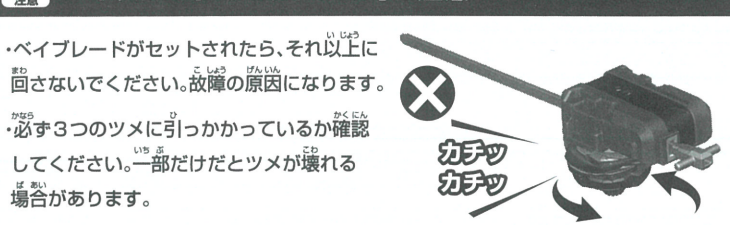


ベィブレード 4つの勝ち方

4ポイント先取で勝利

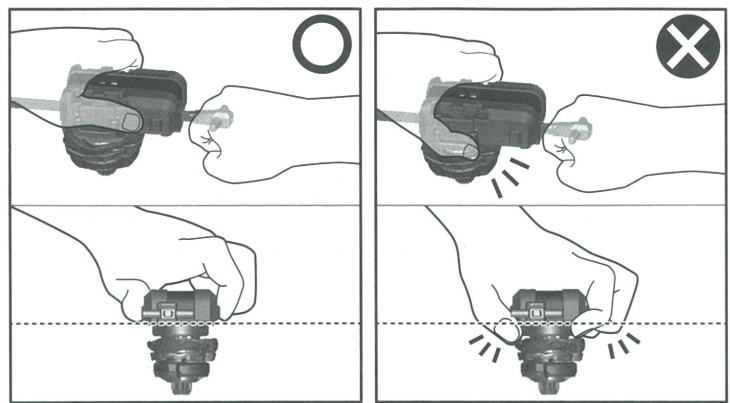


ベィブレードをセットした時の注意



ウィンドーランチャーの握り方

ランチャー本体やロングウィンドーを持つ手がベィブレードに触れていると、ケガをする恐れがありますので図のように持ってください。ロングウィンドーはグリップ部分を持ってください。

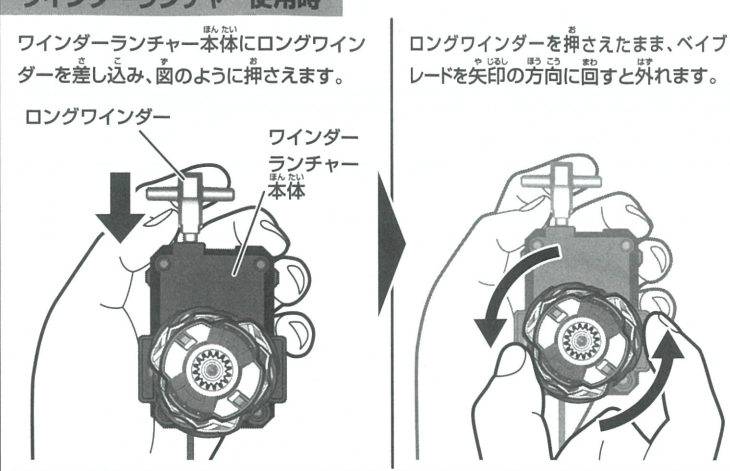


③ ベィブレードの回し方

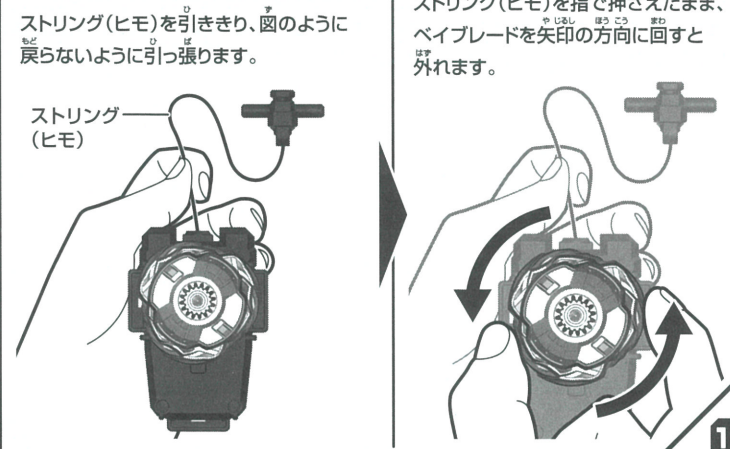


ランチャーからベィブレードが外れなくなった場合

ウィンドーランチャー使用時



スリングランチャー使用時



ベィバトルの仕方

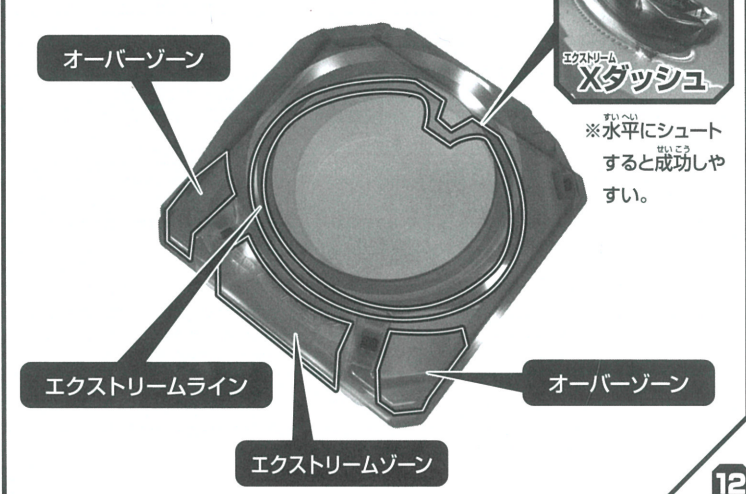
- ① お互いベィブレードをランチャーにセット。
- ② お互いベィブレードエクス専用スタジアムの上に構えます。
- ③ 「3・2・1 GOシュート!」の合図で同時にベィブレードをシュートします。



※ベィブレードエクス専用スタジアム以外は使用しないでください。
※セット内容物以外は全て別売りです。

エクストリームスタジアム(別売り)について

ベィブレードエクスシリーズ専用スタジアム。ビットの軸先とエクストリームラインが噛み合うことにより超加速ギミック【Xダッシュ】が発生します。

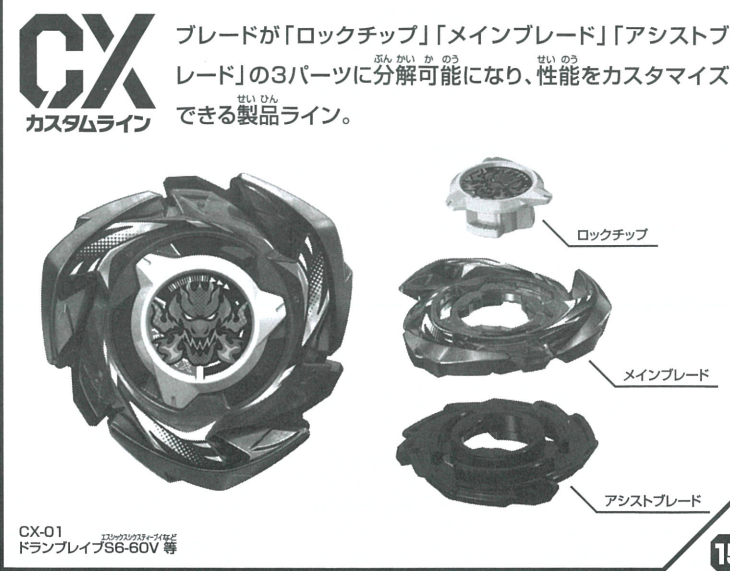


ペガサスブラストAのカスタマイズ例

カスタムライン CXのブレードは、他のCXの各パーツと組み替えて性能をカスタマイズすることができます。



BEYBLADE X の製品ライン



アプリとの連動について

